

# 運営推進会議録

会議名	運営推進会議			認知	会議開催日	令和4年6月27日				
出席者	吉田 忍	民生委員	大分市長寿福祉課	顧客家族	顧客					
<b>議題・議案</b>						<b>決定事項</b>				
近況報告	顧客の平均年齢（6月末現在）			*現在 87.63歳 前回 86.86歳 80代…6名（81歳・87歳3名・88歳・89歳） 90代…1名（90歳・92歳） *4月入居者1名。5月誕生者1名。						
	顧客の平均介護度（6月末現在）			*現在 2.88 前回 3.14 （要介護1…2名 要介護2…1名 要介護3…2名 要介護4…2名 要介護5…1名） *新規入居者 要介護1。その他認定変更なし。						
	顧客の入退居			*入居…4月23日に1名入居。 *退居…なし						
	顧客の入退院			*入院…6月9日、右上腕骨折にて入院1名。 *退院…なし。						
	不適合事故報告			*令和4年5月5日発生 職員による入居者への虐待 ・顧客A（以下A）⇒認知症、パーキンソン病、不安症状他。パーキンソン症状により運動機能や思考機能に日内変動あり。不安症状から職員や他の顧客に依存することがある。 ・職員B（以下B）⇒入社1ヶ月程度。介護職未経験。主に事業所内清掃や顧客とのコミュニケーションを担当する。 ●食事の声掛けのため他の職員がAの居室に行くとBも同行する。Aは起こしてほしい旨の訴えがあるが、職員が自力での離床を促していたところ、Bが「あんたはいつもそうや」「いいかげんにしよ」などと言う。Aは「なんでそんなことを言うの」と口論になりかけたため、職員が介入し距離をはなす。 ●食事後、Aが他の顧客に「私が何をしたらって言うんやろうか」などと話していることに対して、再度Bが威圧的にAを責めるような言動があったため、他の職員が介入する。Bの就業時間が過ぎていたため退勤するよう促すが言動が継続する。再度退勤するよう促し、退勤する。 【再発防止策】 ・認知症の人への対応で、対応が難しい顧客や事例について常に職員間で共有しあい、顧客の尊厳が守られるような対応について実践していく。 ・新入社員（特に介護職未経験者）については、顧客とコミュニケーションを図ってもらう中で、困難なことがないか既存の職員が観察し、指導する。 ・既存の職員でも対応が困難な事例があれば、職員全体で声をかけ協力し、励ましあう関係を築く。 ※当該職員は、理事長との協議により懲戒解雇となる。						
				*令和4年6月9日発生 転倒骨折事故 ●22時頃、居室より物音がしたため訪室。ベッドの足下側横の床に右腕が下敷きになった状態で倒れている本人を発見。外傷等の確認を行い、右腕の痛みを訴える。主治医に連絡し、救急搬送にて大分中村病院へ入院。右上腕骨折の診断にて約1ヶ月の入院予定。 ●居室を確認すると、通常は足下側のベッド柵のみ立てている状態。頭部側のベッド柵を自力で下げることが可能であったが、何らかの事情により頭部側のベッド柵を下ろすことができず、足下側のベッド柵とフットボードとの隙間から降りようとした際に転倒したものと思われる。 【再発防止策】 ・本人退院後の状態を確認した上で、頭部側もしくは足下側のどちらかのみを使用し、使用しない柵は可動しないように紐等で固定する。 ・身元引受人と相談した上で、夜間のみベッドセンサーを使用することで、夜間の動きの把握に努め必要時には介助を行う。 ・全顧客の認知機能や身体能力を確認した上で、同種のベッド使用者について、頭部側もしくは足下側のどちらかで、使用の必要性が少ない方の柵を可動しないようにする。						
	職員の人事異動報告			*5月9日付け、解雇により退職。 *6月27日付け、臨時介護職員（8時間勤務）入職。						

